

平成 28 年度「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る研修計画書

【 1 . 機関・団体概要】

機関・団体名	子ども若者みらい相談プラザ sorae (沖縄県子ども若者総合相談センター)
機関・団体代表者	子ども若者みらい相談プラザ 統括責任者 仲間 玲子
所在地	〒901-2303 沖縄県中頭郡北中城村仲順 264 (運営法人住所)
電話番号	098-923-4123 (098-923-4123)
F A X 番号	098-923-4124 (098-923-4124)
メールアドレス 本研修担当者	info@sorae.okinawa (法人: yumesakihonbu@gmail.com) 担当者名: 松本 大進
H P アドレス	http://www.sorae.okinawa
研修実施場所	〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1 (センター(プラザ)住所)
研修実施場所の最寄駅	ゆいレール(モノレール)首里駅からバスで 10 分程度
組織概要 (設立趣旨)	「子ども・若者育成支援推進法」に基づき、沖縄県の教育、雇用、心理・医療、福祉の行政機関及び地域支援機関と連携し、ニート、ひきこもり、不登校など、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子供・若者(概ね 0 歳～39 歳)の様々な悩みに、心理、福祉、教育、キャリア形成等の専門的な知見を有するスタッフ(有資格者及び経験者等で構成)が対応するワンストップ相談窓口として、子供・若者の社会生活の自立に向けた支援を行う機関として設立する。また、本センター(プラザ)は、特定非営利活動法人サポートセンターゆめさきに委託し運営している。運営にあたっては、沖縄県子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課等が調整にあたり、官民の協働及び知見を集約した県設置の総合相談機関となる。
職員数	全職員数 50 名(常勤 31 名 / 非常勤 19 名)
機関・団体における アウトリーチの特徴等	概ね 0 歳から 39 歳までのひきこもり及び不登校でひきこもりの状態等の子供・若者に対し、緊急性・適時性(アウトリーチで直接会える状態にあるか否か等)を勘案し、当事者の自宅をはじめカフェ等(当事者の希望する場所等で柔軟に対応)でのアウトリーチを実施している。また、緊急性や適時性が見いだせないケースについては、保護者を通じた間接的な支援(家族支援等)を行うことで家族関係の調整や当事者の動機づけを図り、アウトリーチ等の直接的な支援に促している。このように間接的な支援と、アウトリーチ等の直接的な支援の両輪のかみ合わせに重きを置いたアウトリーチが特徴となる。
機関・団体で運営している 相談・支援機関名	センター(プラザ)の運営を行う法人にて、下記の事業を実施している <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県事業 子ども若者みらい相談プラザ sorae ・厚生労働省事業 地域若者サポートステーション琉球 ・厚生労働省事業 地域若者サポートステーション沖縄 ・沖縄市ゆめさき支援センター、フリースペースゆめさき ・夢咲学園(学校法人山口精華学園/広域通信制・単位制高校) ・児童デイサービス ゆめさきクラブ ・相談支援事業所 フローラ比屋根 ・カフェカイロス(就労継続支援 A 型事業所 開設予定)

(案)

【2.平成27年度中のアウトリーチの実績概要】

[子ども若者みらい相談プラザ sorae]

アウトリーチ件数：115件（平成27年4月～平成28年2月末現在）

対象：概ね0歳から39歳までの県民

支援方法

- ・来所相談後、ケース会議において支援方針を検討（臨床心理士、精神福祉士等相談員全員参加）
 - ・支援方針に沿ってアウトリーチを実施（必要に応じて支援機関の職員を同行）
 - ・その他、家族相談、電話、メール相談、同行支援、教育、医療、福祉機関との連携
- 法人の各事業の実績は別途となる。

【3.過去3年間における国又は地方公共団体の委託事業や自主事業等】

[特定非営利活動法人サポートセンターゆめさきとして、下記の事業を運営する]

沖縄県子ども・若者総合相談センター事業：子ども若者みらい相談プラザ sorae / 子ども・若者の円滑な社会生活と自立のために、就学、就労、居場所、福祉制度、環境調整、メンタルヘルス、改善を目的に他機関と連携した支援を行う。

厚生労働省認定事業；地域若者サポートステーション琉球、厚生労働省認定事業；地域若者サポートステーション沖縄働くことにさまざまな悩みを抱えている15歳から39歳までの若者に対する就労支援を行う。

沖縄市雇用対策委託事業、沖縄市若年無業者就労等支援事業、沖縄市教育委員会委託事業、沖縄県教育庁県立学校教育課委託事業（教育相談・就学支援員配置委託事業）；ゆめさき支援センター、フリースペースゆめさき / 中学卒業程度から39歳までの沖縄市在中若年無業者就労支援を行う。

学校法人山口精華学園 / 広域通信制・単位制高校；夢咲学園 / 個別支援や資格取得、体験活動など充実の学習内容にて法人事業所と連携し、就学、就労に向けた支援及び卒業後のサポートを行う。

児童ディサービス ゆめさきクラブ：児童ディサービスゆめさきクラブ / 発達障がいの特性をもつ児童生徒への学習支援、農業体験、パソコン指導など、個別・グループ活動支援。他、家族や地域などのサポートも行う。

その他

【4.過去2年間における子供・若者の支援に関する研修実績】

「sorae workshop vol.1 不登校支援研修（学校に行くのが難しい子どもの支援について）」

・平成27年7月27日 子ども・若者支援機関の支援者 129名

「sorae workshop vol.2 ニート支援研修（仕事がなかなか続かない若者の支援について）」

・平成27年8月4日 子ども・若者支援機関の支援者 62名

「sorae 島でつながる workshop 離島研修会（みんなで考える子ども・若者支援）」

・宮古島 平成28年2月6日 子ども・若者支援機関の支援者 20名

・石垣 平成28年2月6日 子ども・若者支援機関の支援者 25名 その他

【5.「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る講師（担当者）】

1	統括責任者	仲間 玲子	・キャリアコンサルタント ・就労支援経験：10年
2	実施責任者	松本 大進	・臨床心理士 ・子供若者の相談及び支援の経験：11年 ・アウトリーチの経験：3年 ・情緒障害児短期治療施設仙台小松島子どもの家、琉沖縄県琉球大学教育学部付属小・中学校SC等を経験。
3	副担当	宮城 直也	・認定心理士（H28年度より臨床心理士登録） ・子供若者の相談及び支援の経験：5年 ・米国ポーウィ州立大学大学院カウンセリング心理学専攻修了。琉球大学大学院保健学研究科博士後期課程単位取得退学。那覇市教育委員会教育相談員、OIST 研究技術員（発達神経生物学） 沖縄県SC等を経験。
	研修フォローアップ （沖縄県子ども生活福祉部 青少年・子ども家庭課）	中村 俊貴 （県庁職員）	

(案)

【6. 研修生の受入条件、研修内容等】

受入条件	
受入可能な日程	平成28年12月5日(月)～12月9日(金)
受入可能な人数	1名～2名程度
保有資格の要否、その他の受入条件	教育・医療・福祉・雇用等の分野に係る資格(社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士等)を有する者。もしくは資格の取得が見込まれている者。

研修内容	
下記の「初日」～「最終日」までの研修内容については、過去の実績に基づいた予定となります。 アウトリーチの同行やプログラム等の開催に応じて、随時、変更となります。	
研修全体の概要	県設置の子ども若者総合相談センターとして実施している総合相談やアウトリーチの対応を中心に、保護者からの相談受理(インテーク)、実際のアウトリーチ、見立て(アセスメント)、関係機関との連携、就労・自立支援など、当事者が社会に参加(就労や学校復帰、社会復帰等も含め)するまでの段階(プロセス)を見通した研修を行う。また、不安障がい、自閉症スペクトラム等を有する子供・若者のアウトリーチの対応についても理解を深める。
研修初日の開始予定時刻	13時00分
研修最終日の終了予定時刻	19時00分
初日	<ul style="list-style-type: none">・オリエンテーション・センター概要、法人概要、業務内容、研修内容、留意点等について説明・研修生の自己紹介、職務内容や経歴等の概略について説明を受ける・アセスメント会議への出席
2日目	<ul style="list-style-type: none">・法人が運営する各相談機関(事業所)等を視察・アウトリーチの同行：状態像の共有、アウトリーチの実施、ふりかえり
3日目	<ul style="list-style-type: none">・不登校・ひきこもり等の居場所についての連携事業所等を視察・アウトリーチの同行：状態像の共有、アウトリーチの実施、ふりかえり
4日目	<ul style="list-style-type: none">・サポートステーション等との連携、ケースフォローの同行・アウトリーチの同行：状態像の共有、アウトリーチの実施、ふりかえり
最終日	<ul style="list-style-type: none">・5日間のふりかえり、フィードバック・所内会議への出席等
研修内容の配分	講義3 利用者対応4 演習3 研修生の経験や技能に応じて調整する
研修生の宿泊について	特に指定はない
実地研修におけるアウトリーチの回数(予定)	3回程度(研修生の経験や技能に応じて調整する)
備考欄	<ol style="list-style-type: none">1. 実地研修については、センター(プラザ)の運営を行っている特定非営利活動法人サポートセンターゆめさきの職員で、同センターの相談員が行う。2. 上記スケジュール以外にも被支援者の状況に応じて訪問を行う場合がある。3. 研修期間中も相談対応等を行っており、研修担当者が急なケース対応等を生じる場合もある(研修担当者が5日間常に付きっきりとは限らない)。4. 上述のとおり、心理、福祉、教育、キャリア形成等の専門的な知見を有する有資格者及び経験者等の職員で構成されていることから、研修内容も一定の経験を有する者を想定して行う。